

# Urban Innovation OKAZAKI

スタートアップと行政職員が協働する、新たな地域課題解決プロジェクト



オンライン説明会

2021年11月25日(木)16時～17時半



# 説明会の流れ

時間	内容	登壇者
16:00～16:10	岡崎市紹介 & 事業概要説明 (10分)	岡崎市企画課
16:10～16:20	Urban Innovation OKAZAKI事業説明 (10分)	UIJ事務局
16:20～16:35	各課題説明 (各5分)	
	(1) 人も社会も環境もウェルビーイングなQURUWA地区の「豊かな暮らし」の実証実験	都市施設課
	(2) 「どうする家康」に便乗！宿泊につながる体験型コンテンツの開発・実証	観光推進課
	(3) 最先端技術を用いて河川管理を効率化し、地域の防災力を高めたい！	河川課
	(4) 育児における不安や孤独感を解消したい！ 新たな子育て情報発信ツールの実証開発	こども育成課
16:35～17:15	各テーマへの質疑応答	
17:15～17:20	地域イノベーション交流会の紹介・参加のお願い	スノーピークビジネスソリューションズ
17:20～17:25	全体質疑応答	
17:25～17:30	クロージング	事務局





# お願い

- ① 課題を把握いただく場です。お気軽にご質問いただければ幸いです。
- ② ご質問がある方は、チャットに書き込んでいただくか、質疑応答の際にご発言いただけますと幸いです。
- ③ お一人の方から多数ご質問があった場合は、他の方のご質問を優先させていただく場合があります。
- ④ 市政へのクレーム、また、提案やアピールの場ではありませんので、逸脱される方は発言の途中で遮らせていただく場合があります。

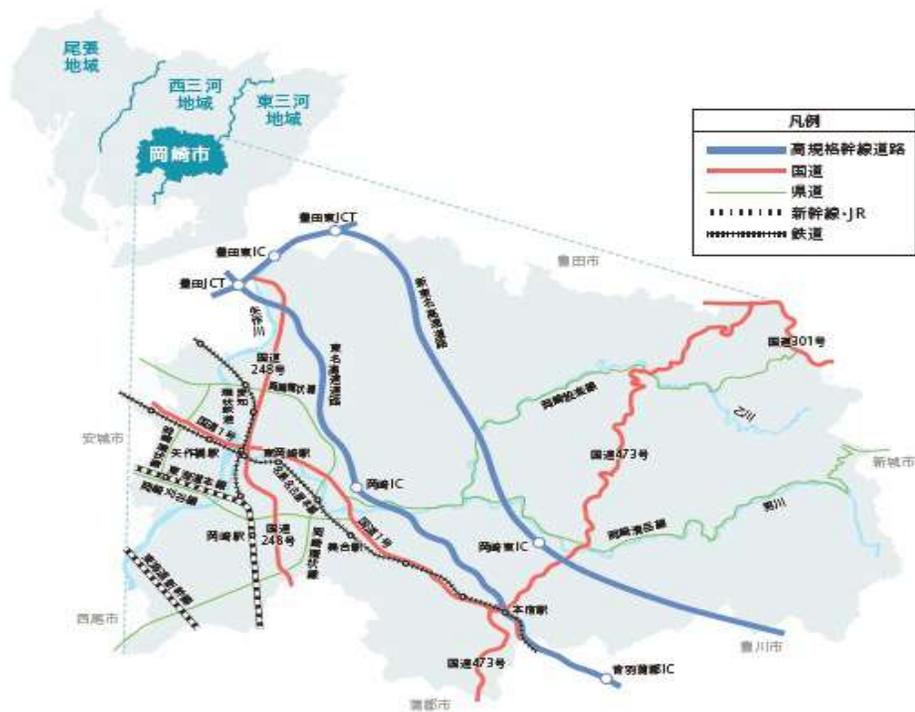


# 岡崎市ご紹介 & 事業概要説明

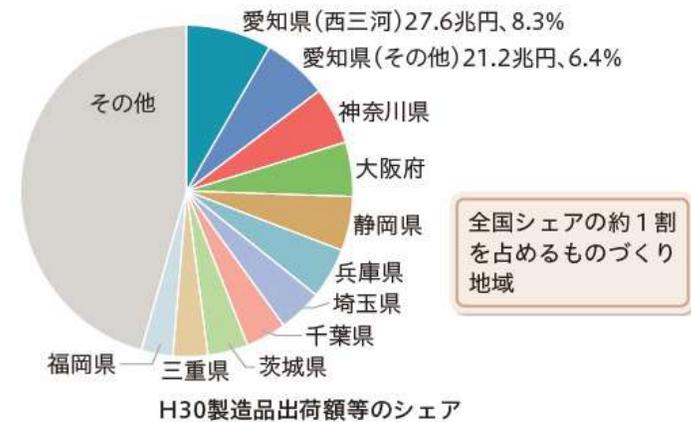
岡崎市 総合政策部 企画課



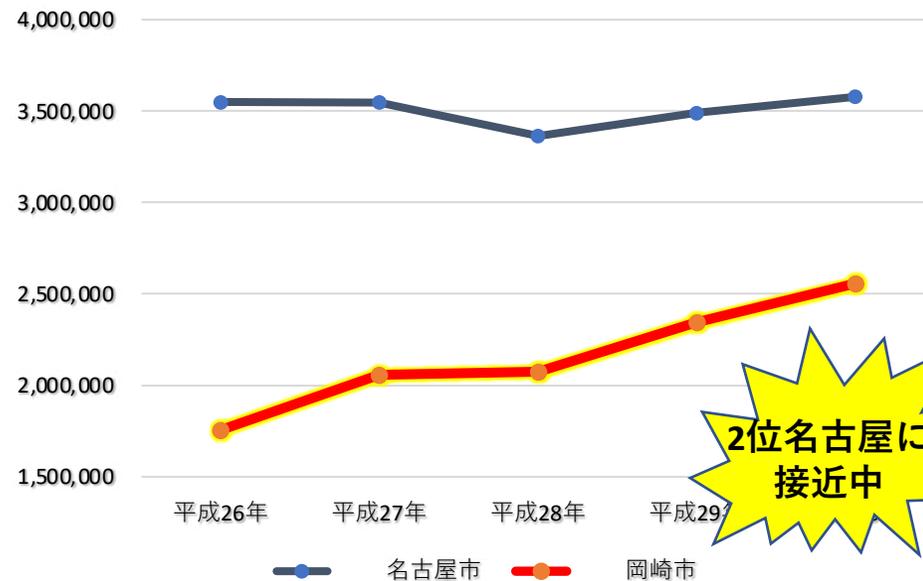
# 1 岡崎市の紹介



ものづくりのまち愛知県  
 人口 385,633人 県内第3位  
 製造品出荷額 県内第3位



## 製造品出荷額等





# 3 現在のまちの姿

道路空間活用社会実験



籠田公園  
整備  
(R1.7)



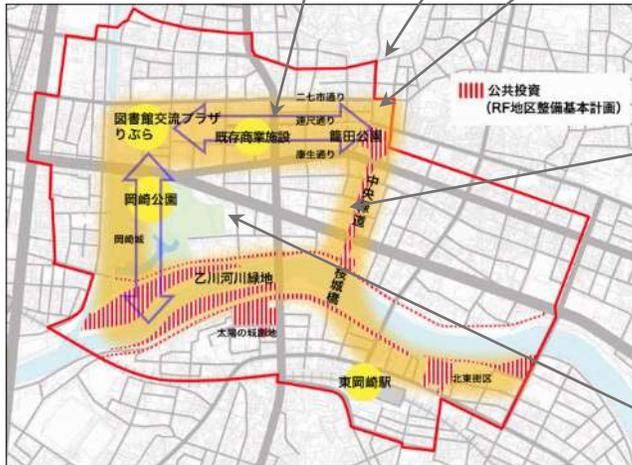
中央緑道  
整備  
(R3.3)



人道橋  
整備  
(R2.3)



河川空間  
整備



# 4 スマートシティ取組背景と導入技術例

【都市再生】

【まちなかウォーカブル】

【スマートシティ】

ウォーカブル諸課題を解決する  
スマート技術



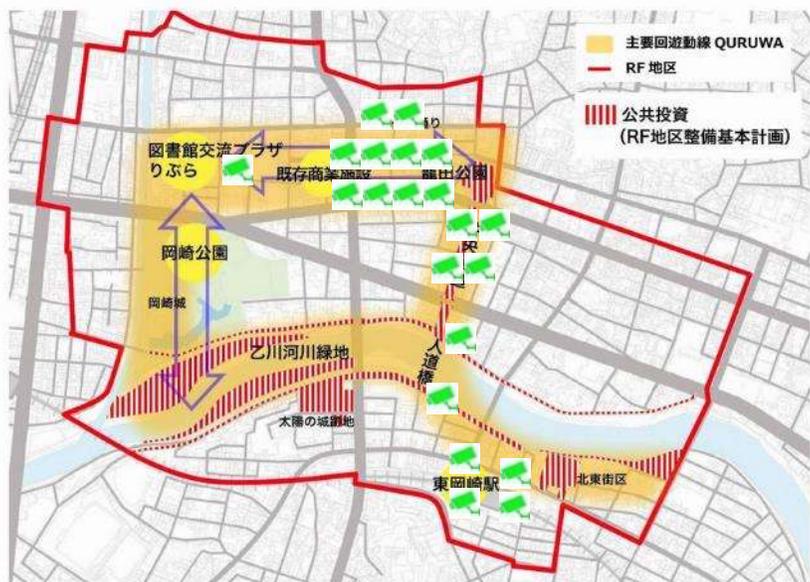
自動車依存度の高い地方都市における都市再生では、市民・来街者が歩いてまちを楽しめる仕掛けが必要

## まちを歩いて楽しむ人間中心のスマートシティ

<p>アプリ活用サイクルシェア</p>	<p>通行人属性推定技術</p>	<p>ウォーキングアプリ</p>
<p>駐車場満空情報提供</p>	<p>エネネ地域電力小売会社</p>	<p>人流動線把握技術</p>

# 5 カメラによる通行人属性推定

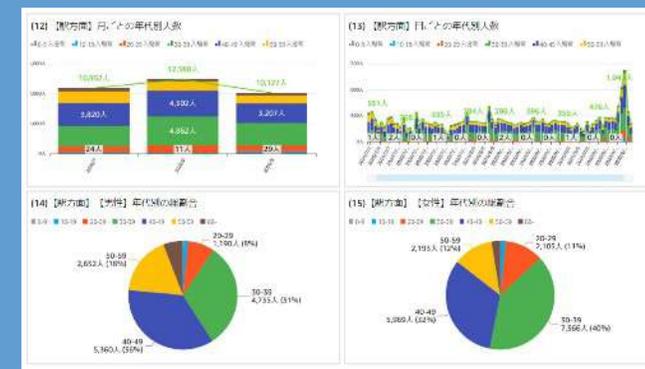
人流分析カメラ常設 21箇所  
(主要回遊動線上)



< 総人数 方面別 >



< 年代別 >



< 月別・日別・性別 >



< マスク着用別 (実験中) >

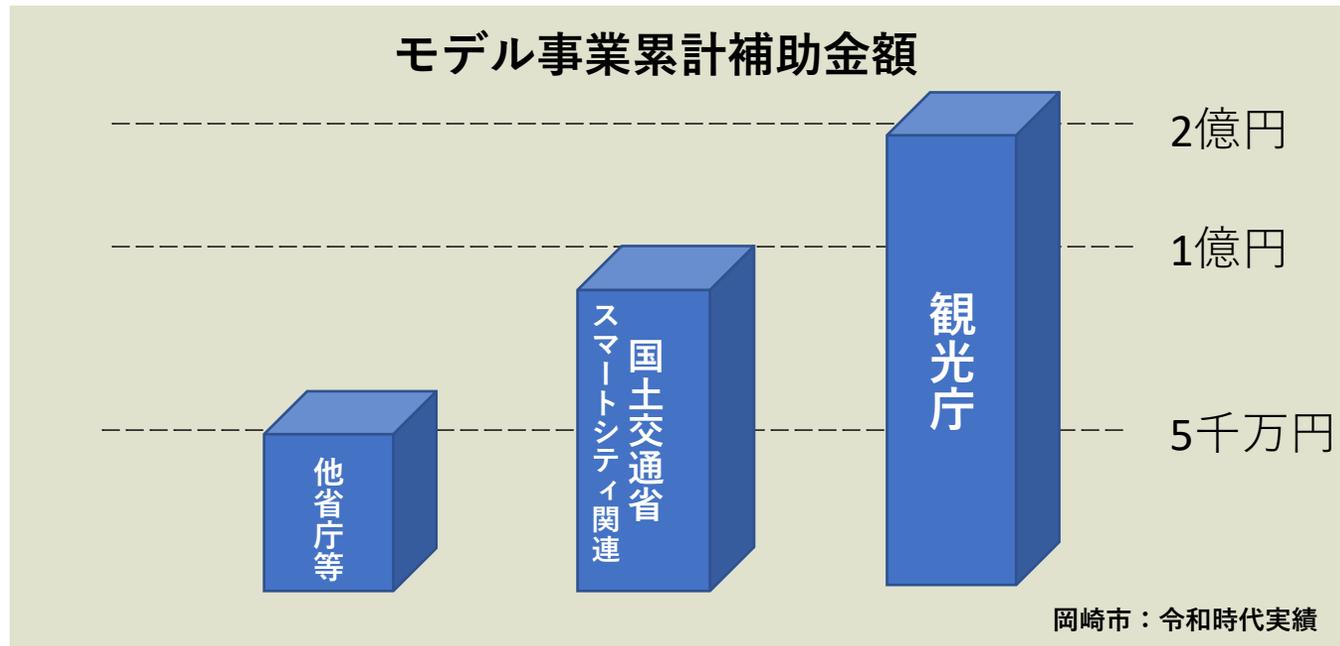


## 6 募集課題

- ① 人も社会も環境もウェルビーイングな  
QURUWA地区の「豊かな暮らし」の実証実験
- ② 「どうする家康」に便乗！宿泊につながる  
体験型コンテンツの開発・実証
- ③ 最先端技術を用いて河川管理を効率化し、  
地域の防災力を高めたい！
- ④ 育児における不安や孤独感を解消したい！  
新たな子育て情報発信ツールの実証開発

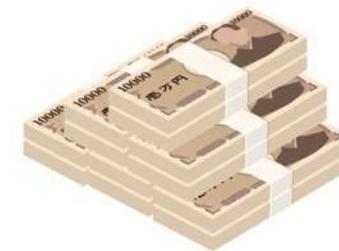
## 7 さいごに

**国・県が行うモデル事業へ積極的にチャレンジし、  
共に地域課題の解決を目指していただける  
民間事業者様の先進的なご提案お待ちしております！**



### 獲得モデル事業（一部抜粋）

- ・スマートシティモデルプロジェクト（国土交通省）
- ・人流データを活用した地域課題解決モデル事業（国土交通省）
- ・既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業（観光庁）
- ・地域低炭素化推進事業体設置モデル事業（環境省）
- ・地域イノベーション連携モデル事業（ふるさと財団）



# Urban Innovation OKAZAKI説明

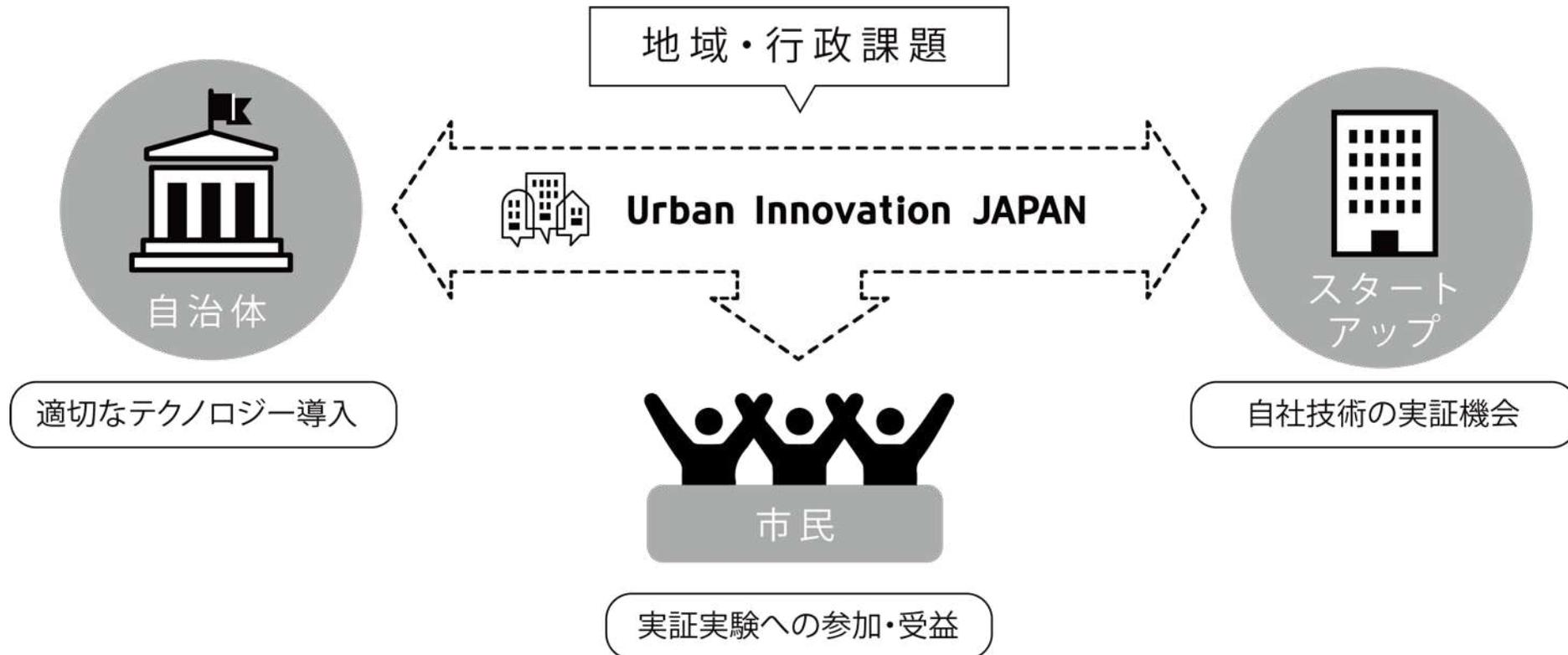
Urban Innovation JAPAN事務局





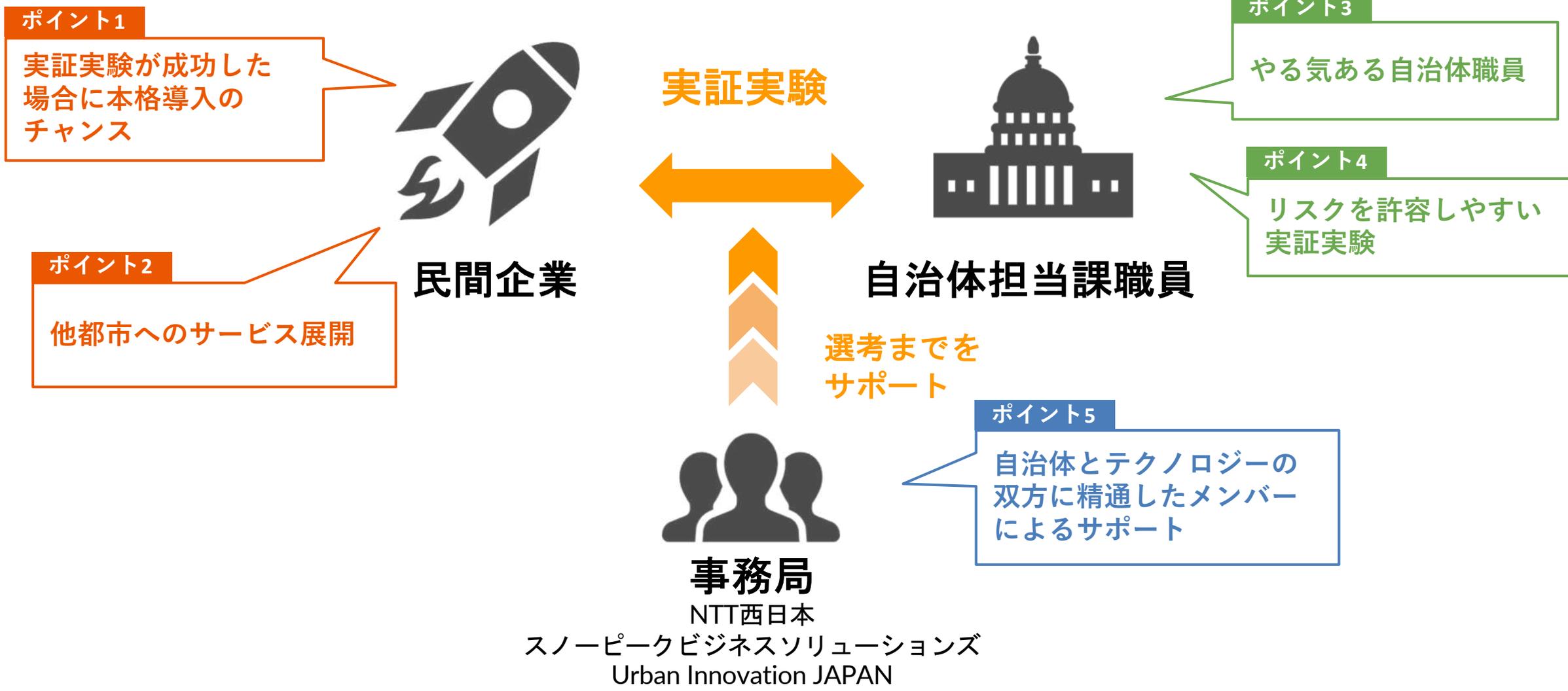
# Urban Innovation JAPANとは

スタートアップと市職員が協働して  
行政課題や社会課題の解決に取り組むことで、  
スタートアップの成長と市の課題解決を目指す取り組み





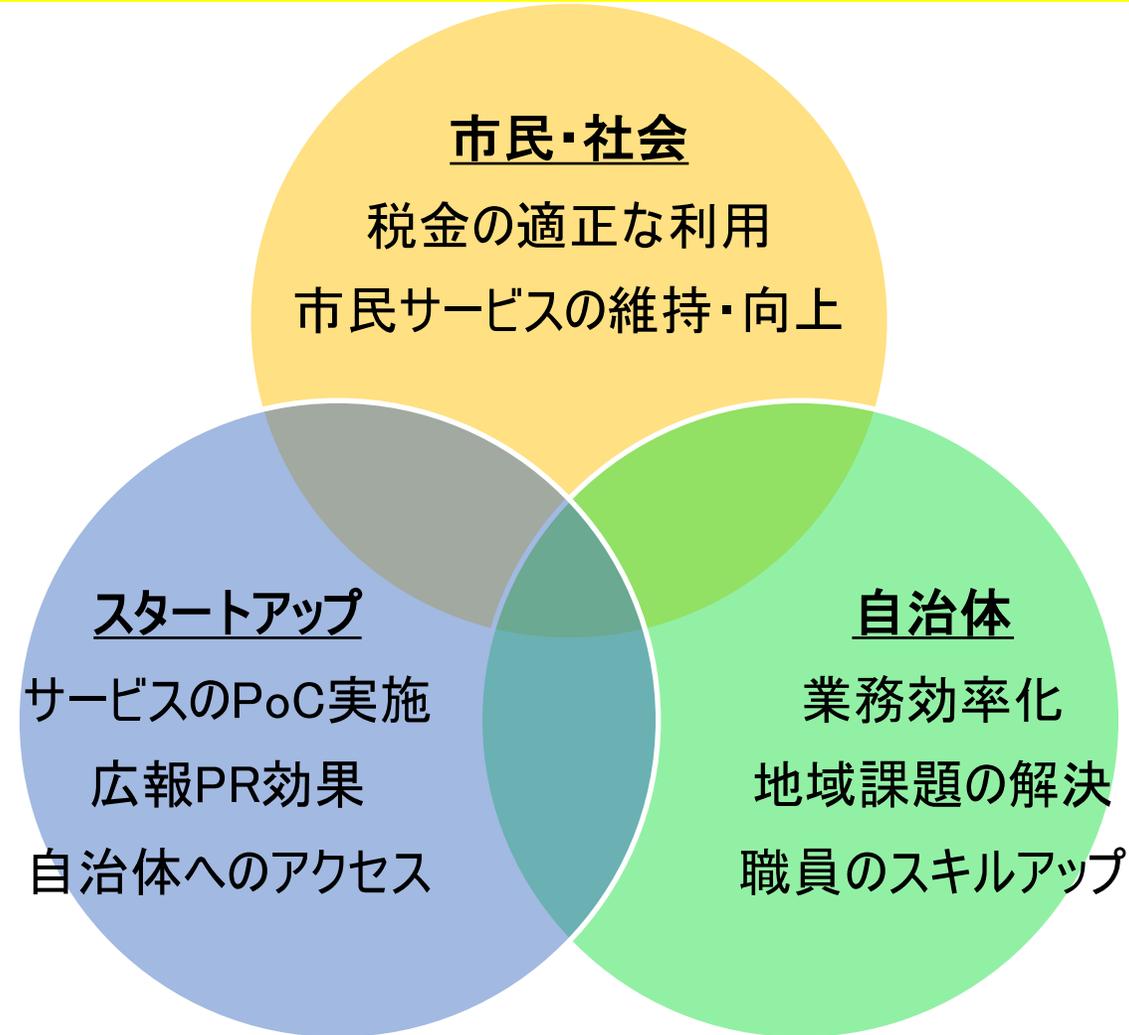
# 地域イノベーション連携モデル事業





# Urban Innovation JAPAN とは

市民、自治体、スタートアップ企業の「三方よし」を目指すプロジェクト

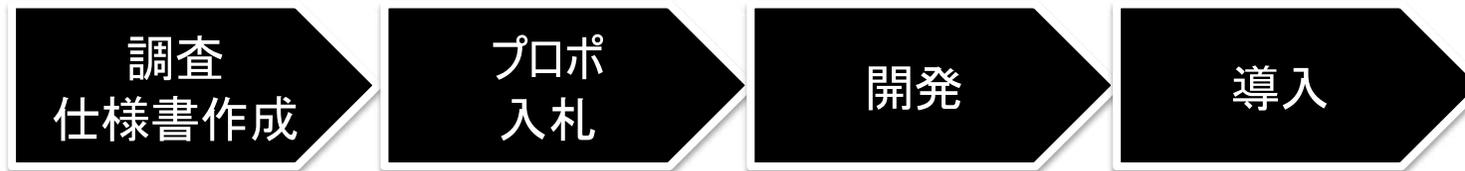




# Urban Innovation JAPANとは

スタートアップの技術の社会実証を行うとともに、  
課題設定や住民ニーズ、解決策の有効性を確認を行います。

## 従来のシステム調達



現場ニーズに合わない  
使い勝手が悪いなどの問題が発生

## Urban Innovation による調達

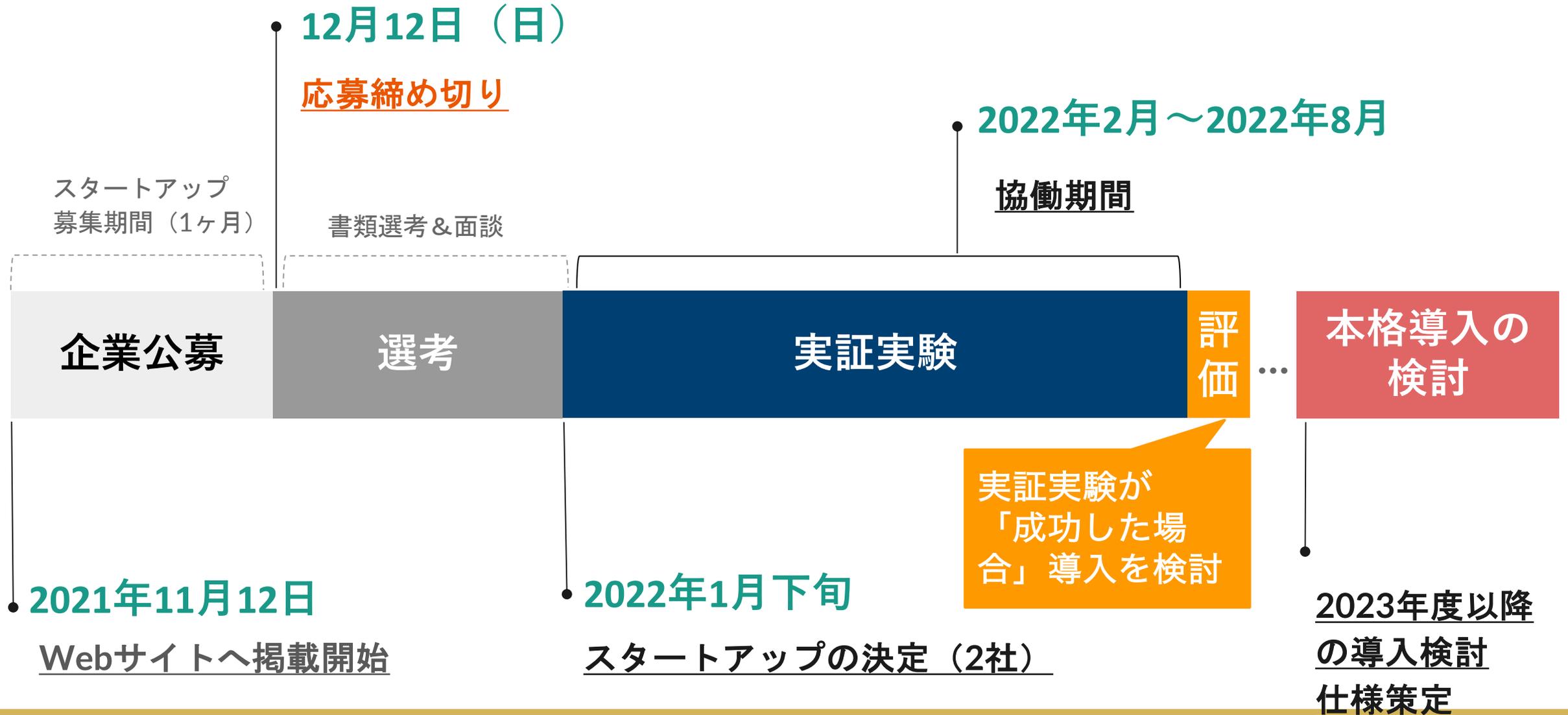


スタートアップとの  
協働・実証実験





# 全体スケジュール



## 方向性の決定



### 実証内容すり合わせ

- ・実証実験のゴールの決定
- ・データ収集
- ・市民へのインタビュー、現場視察など実施

1ヶ月目

## α版の開発



### プロトタイプの開発

- ・スタートアップによる開発  
(開発を行わない場合もあり)
- ・ユーザーフィードバック

2～3ヶ月目

## 実証準備・調整



### 実証の調整・広報

- ・関係各所との調整
- ・実証実験参加者の呼びかけ
- ・プレスリリースの準備

4ヶ月目

## 実証実験



### 実証と報告まとめ

- ・実証実験
- ・データ調査、アンケート
- ・場合によっては追加の実証実験
- ・報告書作成

5～6ヶ月目

実証実験の支援金の支給(50万円/件) ➡ 投資としての実証実験



# 応募方法



Urban Innovation JAPAN

UIJとは 募集中の課題 過去の課題

自治体の方  
はコチラ

お問合せ

企業の方  
はコチラ

申し込み



岡崎市 都市施設課 QURUWA戦略係

## 人も社会も環境もウェルビーイングなQURUWA地区の「豊かな暮らし」の実証実験

#まちづくり #交通 #住宅・都市 #建設・土木 #環境



Okazaki City

残り17日

2021年  
12月12日 (日)

募集中



神戸市  
11.28  
まで



岡崎市  
12.12  
まで

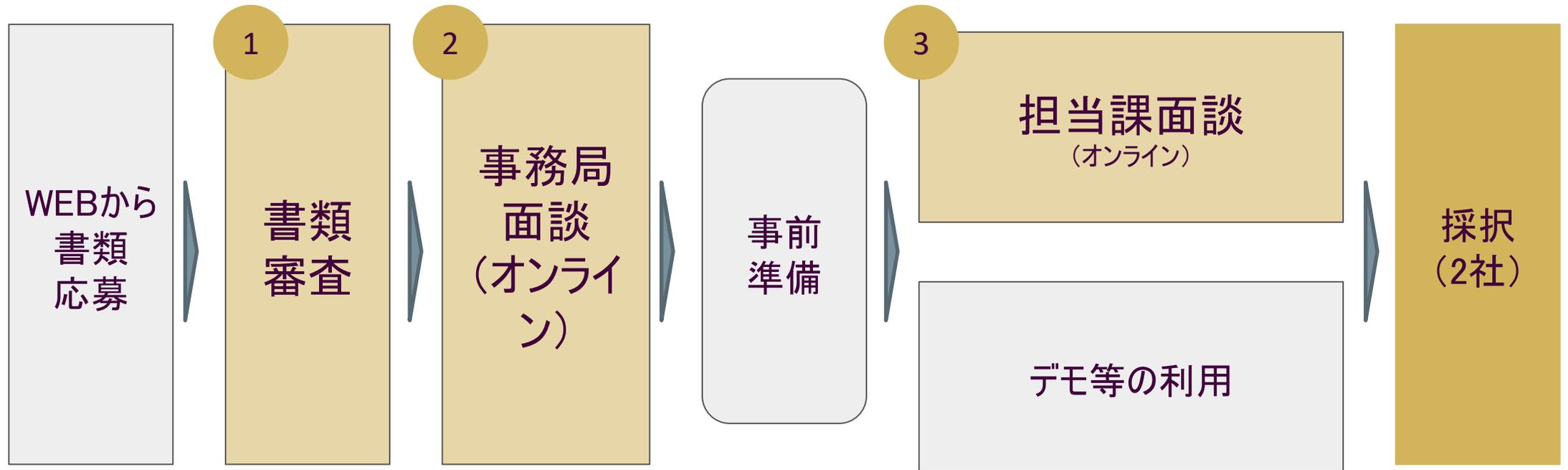
ページ右上の「申し込み」ボタン  
→ 応募フォームからご応募ください。





# 選考プロセス

審査を3段階で実施  
オンライン面談、1月末に最終的に2社決定





# Urban Innovation OKAZAKIのポイント

まちづくり、観光（宿泊）など  
スタートアップ企業に限らず応募可能



# 各課題説明





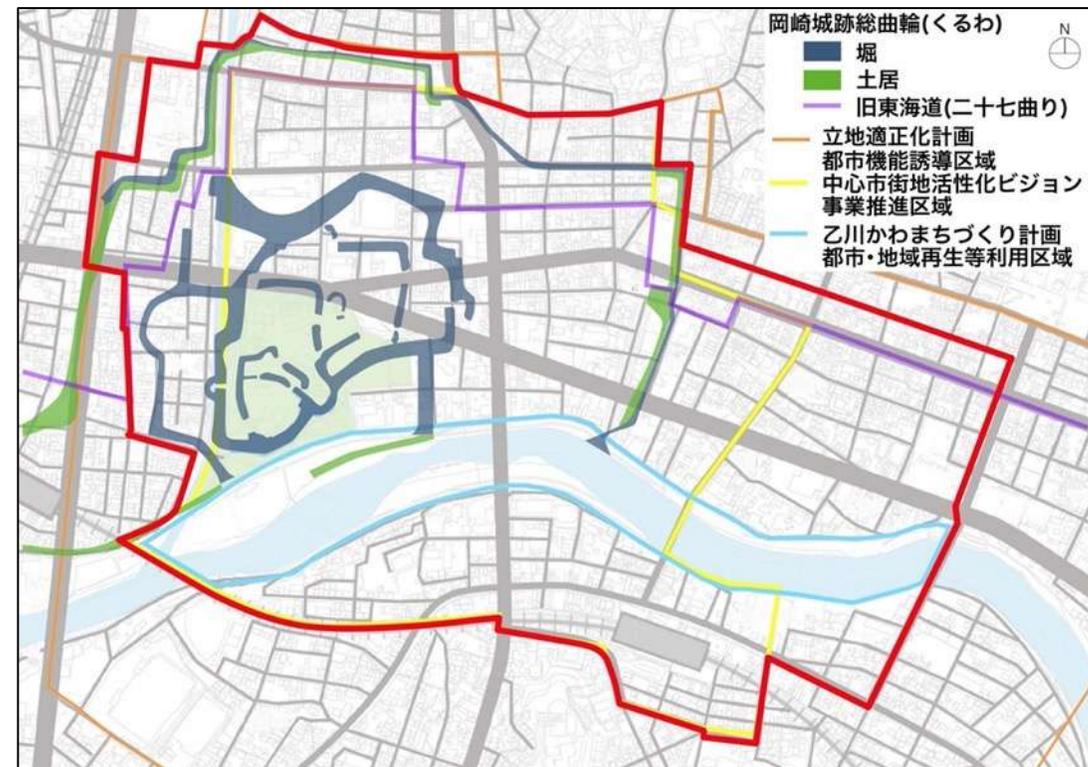
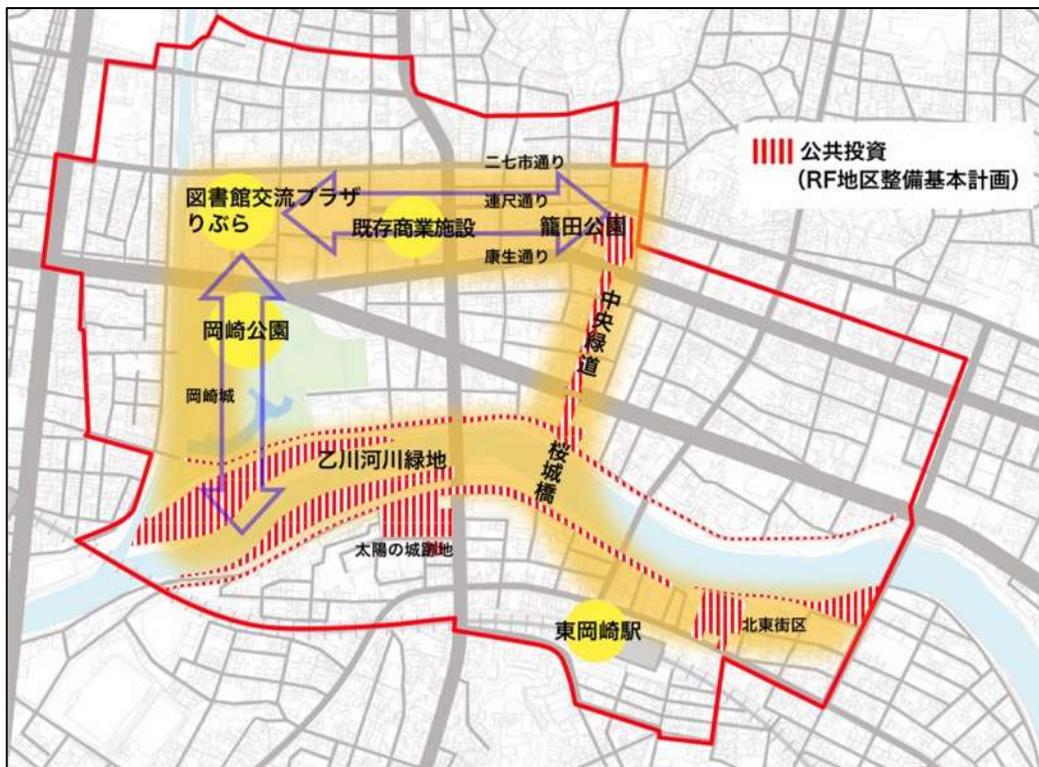
# 人も社会も環境もウェルビーイングな QURUWA地区の「豊かな暮らし」の実証実験

都市施設課 QURUWA戦略係



# 1.QURUWAとは？

岡崎市では、市内の川や駅、図書館や公園、お城などの拠点を結ぶ「Q」の字型の回遊動線が、岡崎城跡の「総曲輪(そうぐるわ)」の一部と重なることからQURUWAと名付け、QURUWAを中心とした公民連携まちづくりに取り組んでいます。



# 2.QURUWA戦略

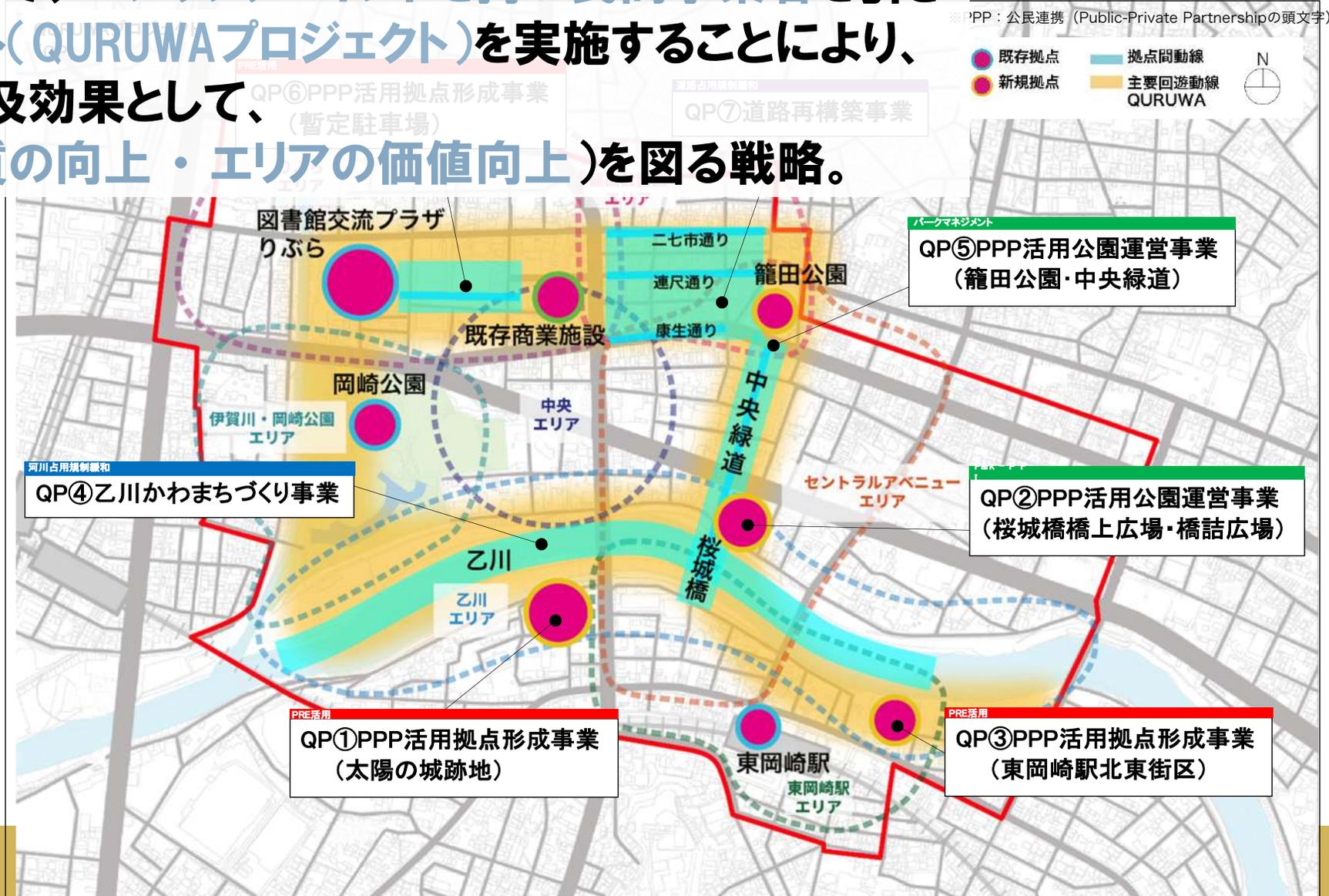
豊富な公共空間を活用して、パブリックマインドを持つ民間事業者を引き込む**公民連携プロジェクト(QURUWAプロジェクト)**を実施することにより、その回遊を実現させ、波及効果として、まちの活性化(暮らしの質の向上・エリアの価値向上)を図る戦略。

※PPP：公民連携（Public-Private Partnershipの頭文字）

- 既存拠点
- 新規拠点
- 拠点間動線
- 主要回遊動線 QURUWA



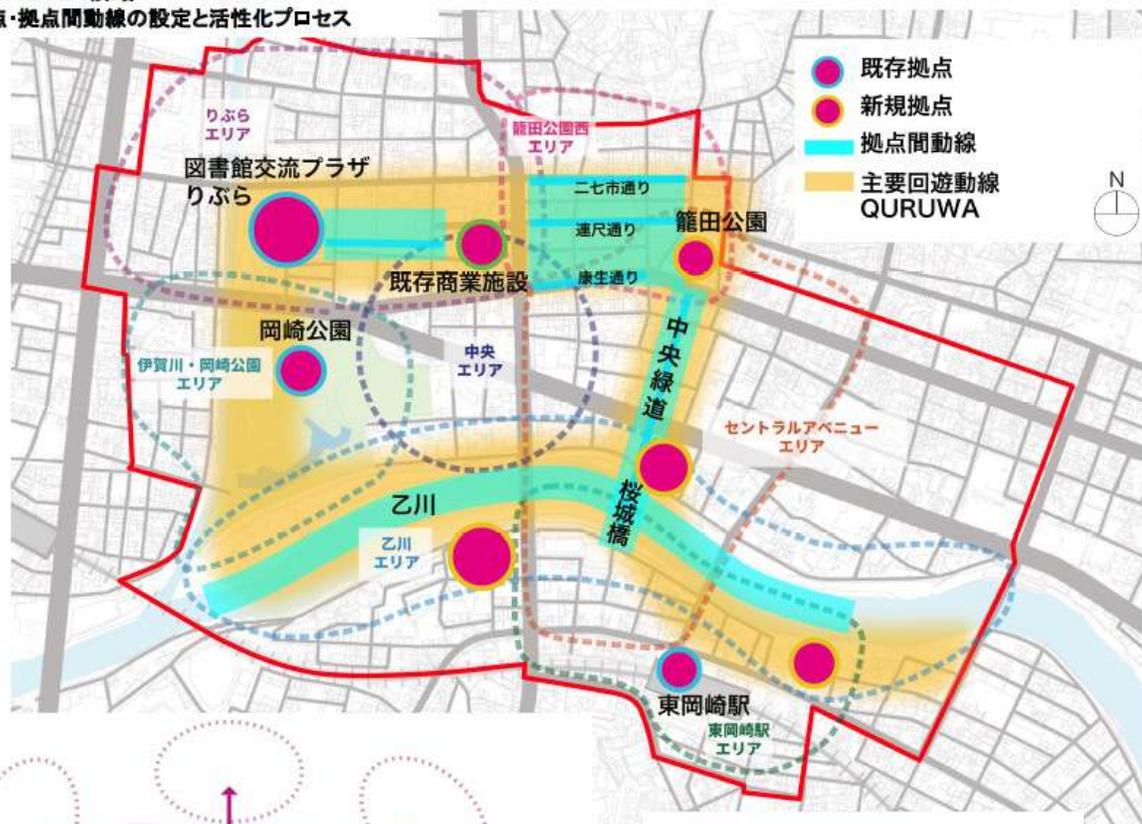
エリアの約50%が公共空間  
(赤着色部分)



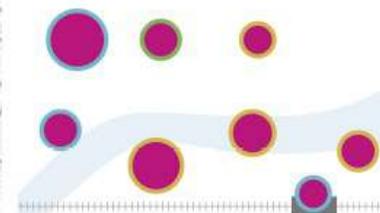
# 2.QURUWA戦略

## QURUWA戦略

拠点・拠点間動線の設定と活性化プロセス

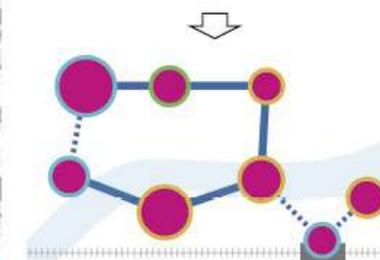


## QURUWA戦略による 活性化プロセスイメージ



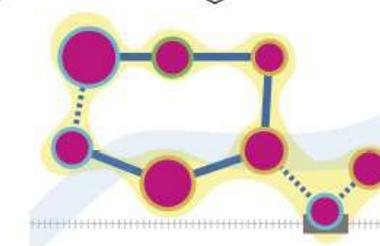
### 拠点の設定

QURUWA上の徒歩5分圏内の既存集客施設と公共空間に拠点を設定



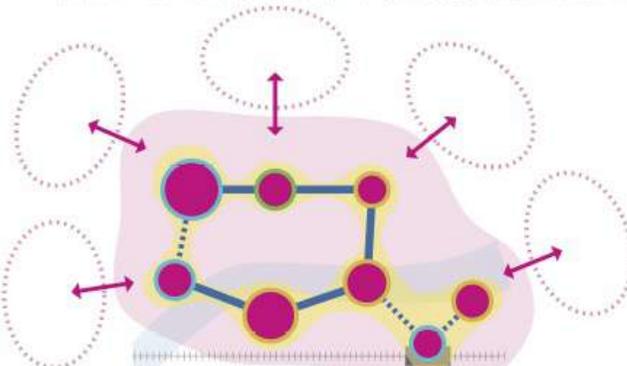
### 拠点間動線の設定

QURUWA上の拠点をつなぐ拠点間動線を設定



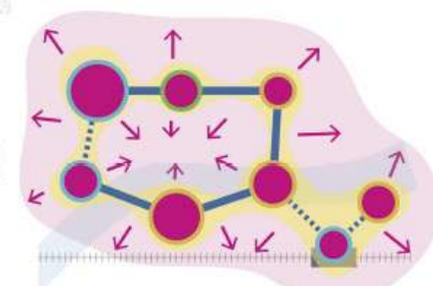
### 主要回遊動線の実現

各拠点・拠点間動線上において公民連携プロジェクト(QURUWAプロジェクト)を実施することで回遊を実現



### エリア外周辺への波及

RF地区公民連携まちづくりの波及効果によって、周辺エリア価値・暮らしの質が向上



### エリアへの波及

波及効果でエリア全体の価値・暮らしの質が向上

# 3.QURUWA戦略の現在の状況

**リノベーションまちづくり(公共空間の再整備と運動)**

道路空間活用

図書館リサイクル本パー※R2~

QURUWA菜園@りぶら  
※R元年実施  
→ R2年民有地へ移転し  
まちなか菜園を展開予定

乙川かわまちづくり事業(川空間活用)

【太陽の城跡地】事業イメージ R2.3月 事業者決定→調整中

【桜城橋】橋詰広場事業イメージ  
R2.3月 橋開通  
P-PFI事業者決定 → 調整中

【oto riverside terrace】  
R元.11月OPEN

七市通り  
連尺通り  
康生通り

龍田公園 R元.7月OPEN

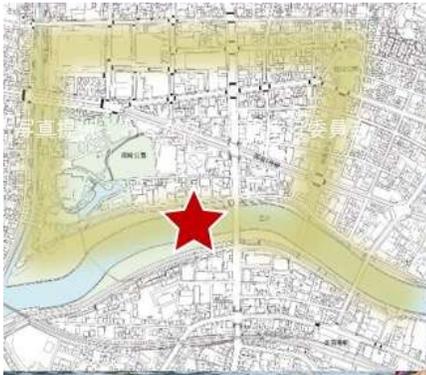
中央緑道 R3.3 中央緑道開通

東岡崎駅

oto riverside terrace R元.11月OPEN

# 4.QURUWAの風景

## 乙川の風景



ボートグランピング



ランニングスクール



ヨガ



SUP



リバーサイドマラソン



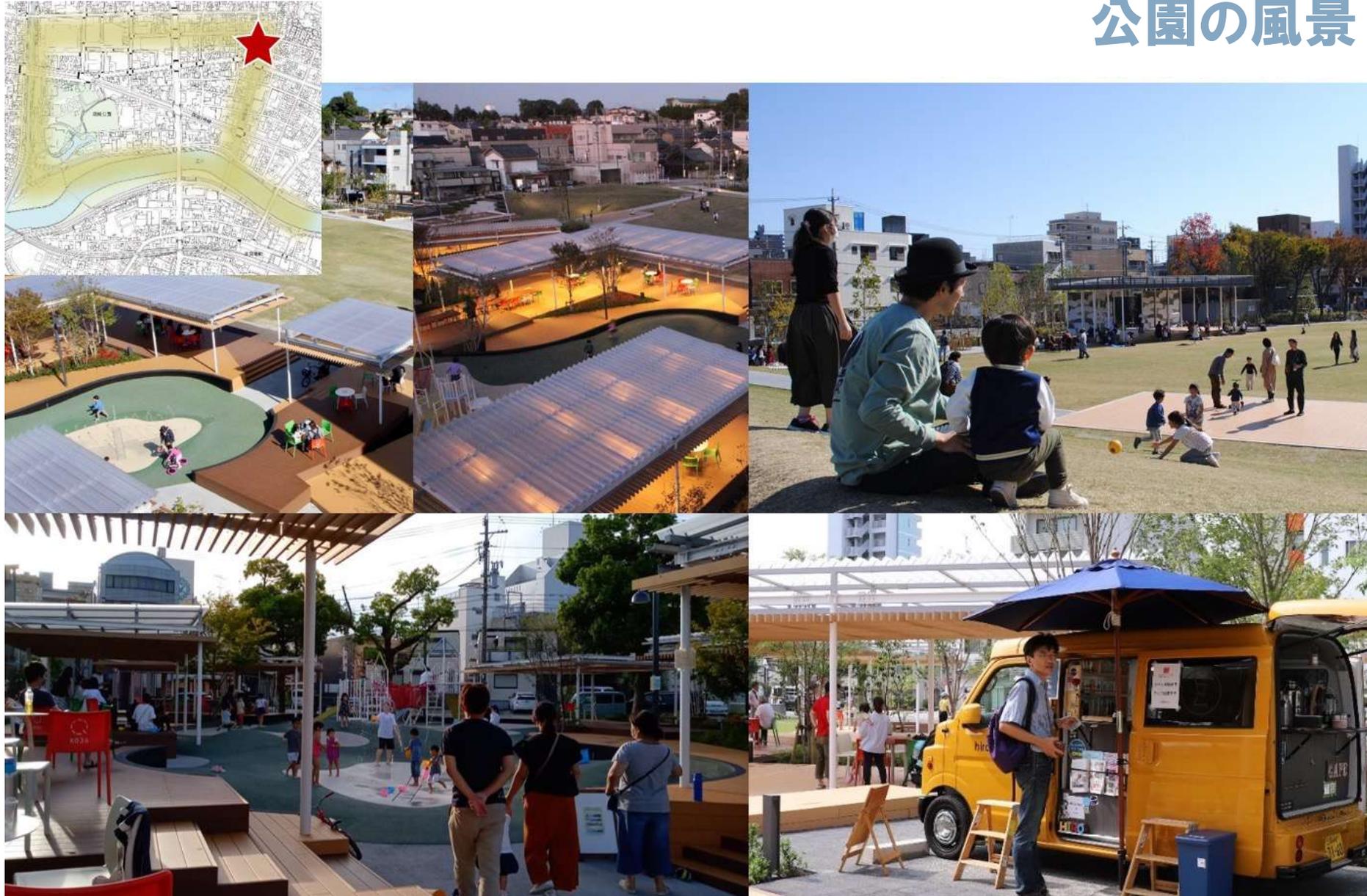
ハンドメイドセレクトマーケット



Let it Camp

# 4.QURUWAの風景

## 公園の風景



# 4.QURUWAの風景

## 道路の風景



康生通り



康生通り



二七市通り



連尺通り

## 5.都市施設課QURUWA戦略系の役割

### QURUWA戦略の推進

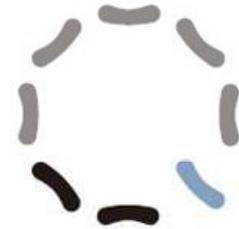
- ・民間のワンストップ窓口
- ・庁内横ぐし調整
- ・専門家、地元との調整・作戦会議
- ・公共空間活用の推進
- ・規制緩和、制度改正、運用改善、制度創設
- ・情報発信
- ・回遊の促進

# 5.都市施設課QURUWA戦略系の役割

## QURUWA戦略の推進

- ・民間のワンストップ窓口
- ・庁内横ぐし調整
- ・専門家、地元との調整・作戦会議
- ・公共空間活用の推進
- ・規制緩和、制度改正、運用改善、制度創設
- ・情報発信
- ・回遊の促進

### QURUWAウェブのリニューアル (R4.1)



## QURUWAと、

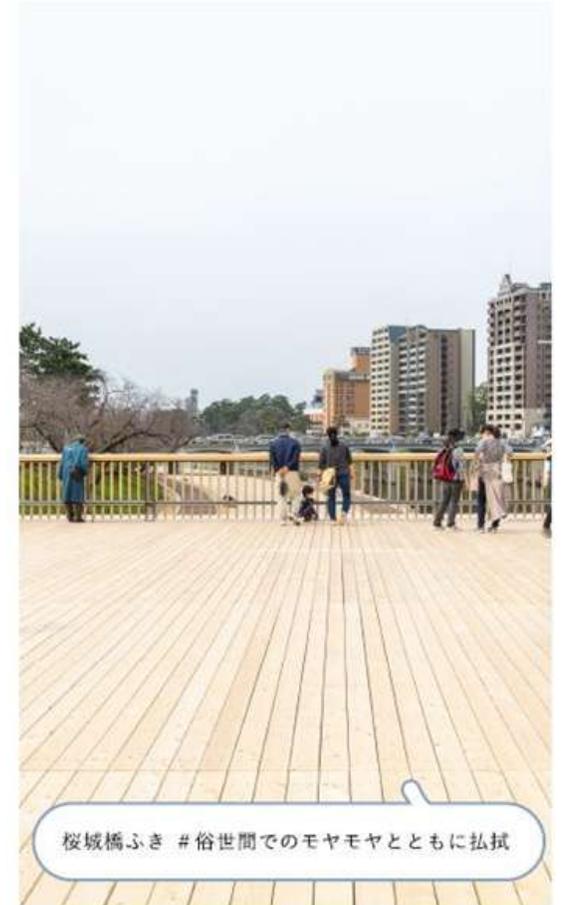
岡崎の変わるまちなか「QURUWA」と何する？

Otogawa flowing through Okazaki City, Aichi Prefecture.  
Connect each base located  
in the surrounding areawith a letter "Q"  
We call the street "QURUWA".

SCROLL



2021.11.22 緊急的なニュースの表示緊急的なニュースの表示緊急的な →



QURUWAトラヤイ!



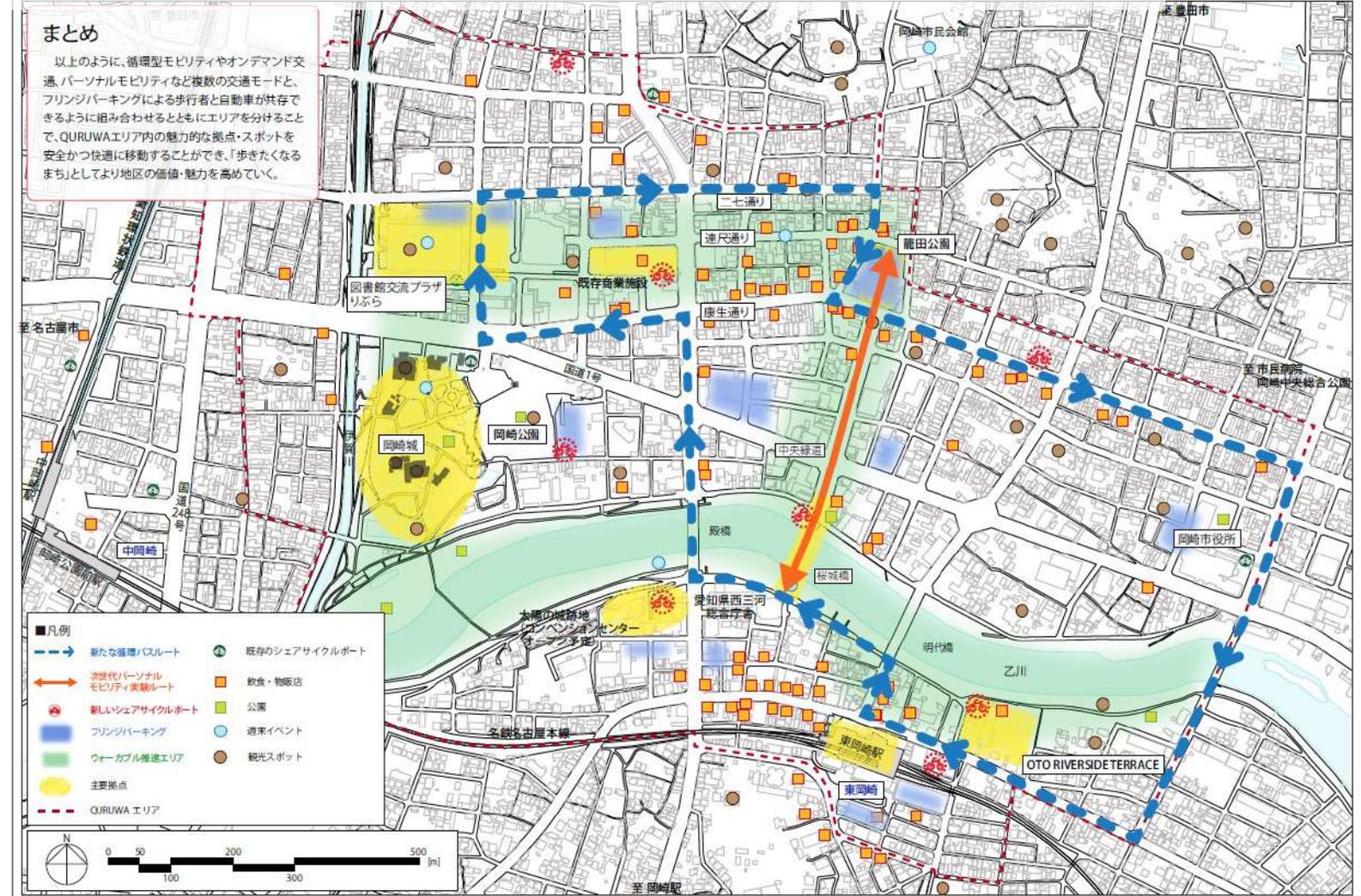
# 5.都市施設課QURUWA戦略系の役割

## QURUWA戦略の推進

- 民間のワンストップ窓口
- 庁内横ぐし調整
- 専門家、地元との調整・作戦会議
- 公共空間活用の推進
- 規制緩和、制度改革、運用改善、制度創設
- 情報発信
- 回遊の促進

## 回遊支援構想

(パーソナルモビリティ、グリーンスローモビリティ等)



## 6.実現したい未来

- QURUWAでは目指す将来像として「これからの100年を暮らすまち -新しい住み方・働き方・遊び方をつくる-」を掲げています。
- 公共空間における10年後の未来を先回りして実証し始め、「豊かな暮らし」の実現を目指したい。

### 【これからの100年を暮らすまち】

- 居心地がよく歩きたくなるまちなかの空間の形成
- 岡崎ならではのコンテンツが集まるまち
- 市域内経済循環を生み出す都市型産業の創出
- パブリックスペースにおける持続可能なエリアマネジメント
- 多様な働き方・雇用の創出
- ゼロカーボンで持続可能なまち
- 地域の伝統文化を大切にし、コミュニティが継続されるまち
- 市民誰もが健康(身体的・精神的・社会的)に暮らせる街

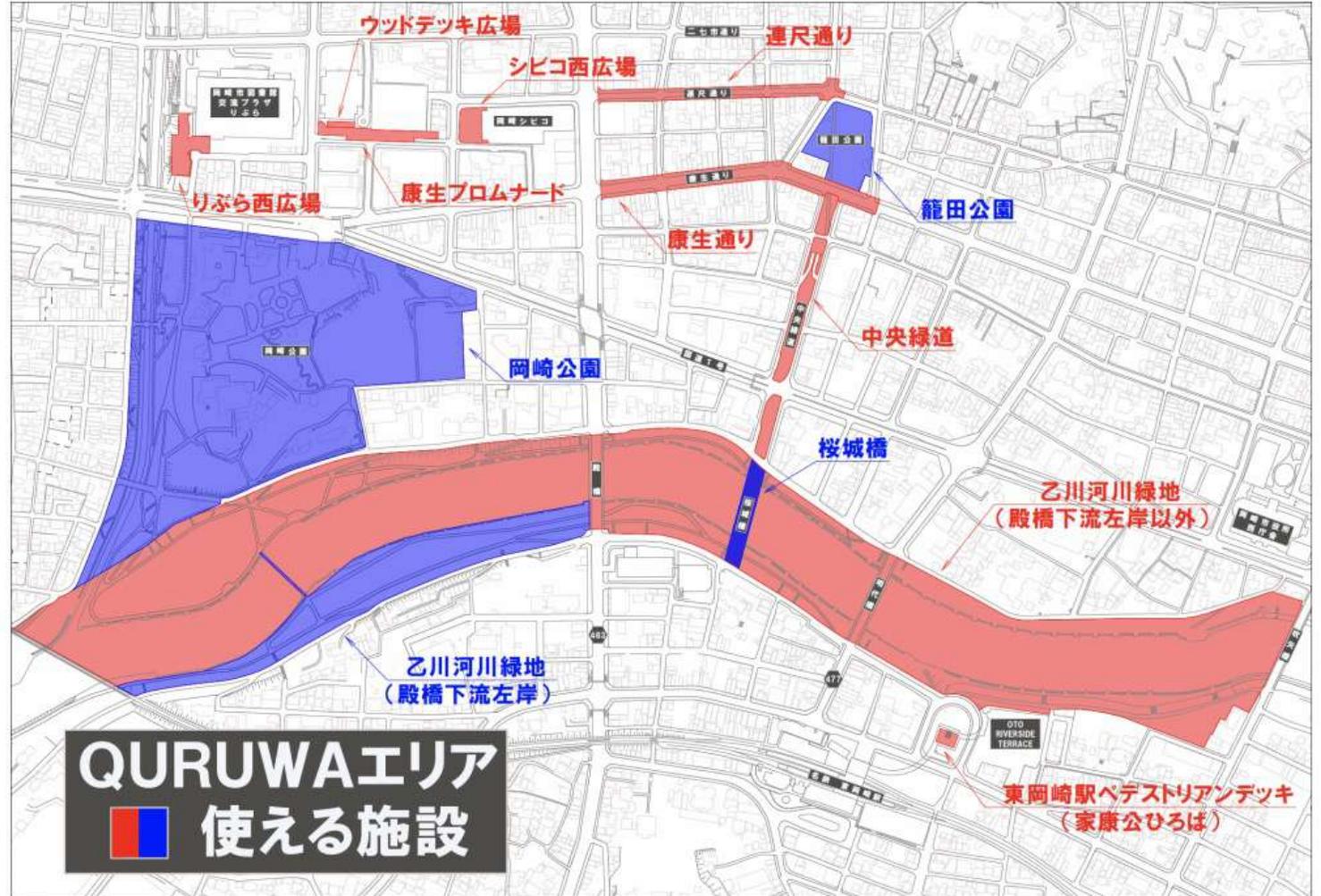


# 7. QURUWA地区における公共空間

- QURUWA地区の公共空間が快適に利活用され賑わうために必要だと予測される技術やインフラ、イベントなどを広く募集し、10年後の日常を目指した実証実験を行いたい。

- スローモビリティ
- メタバスとの連携
- インクルーシブデザイン
- サーキュラーエコノミー
- イベント
- ビジネスや活動の創出

など ジャンルは問いません。



## 7.本募集での着目ポイント

**共にQURUWA戦略を推進してくれるパートナーを募集しています！**

そこで、

- ・10年先の日常風景としてQURUWA地区でどんな暮らしを実現したいか
- ・そのために、**どんな技術でまちづくりに参画できるか**
- ・実現するための必要な**ロードマップやスキーム**(関係者や役割分担)  
**が具体的に想定されているか**

といったポイントのお話をお聞きしたいです。

皆さんの熱い提案をお待ちしています！！

# 「どうする家康」に便乗！ 宿泊につながる体験型コンテンツの開発・実証

経済振興部観光推進課

# 1.実現したい未来

○岡崎に来るなら泊まらないともったいない、ぜひ行ってみたい、  
また来たいと思ってもらえるようなまちにしたい！

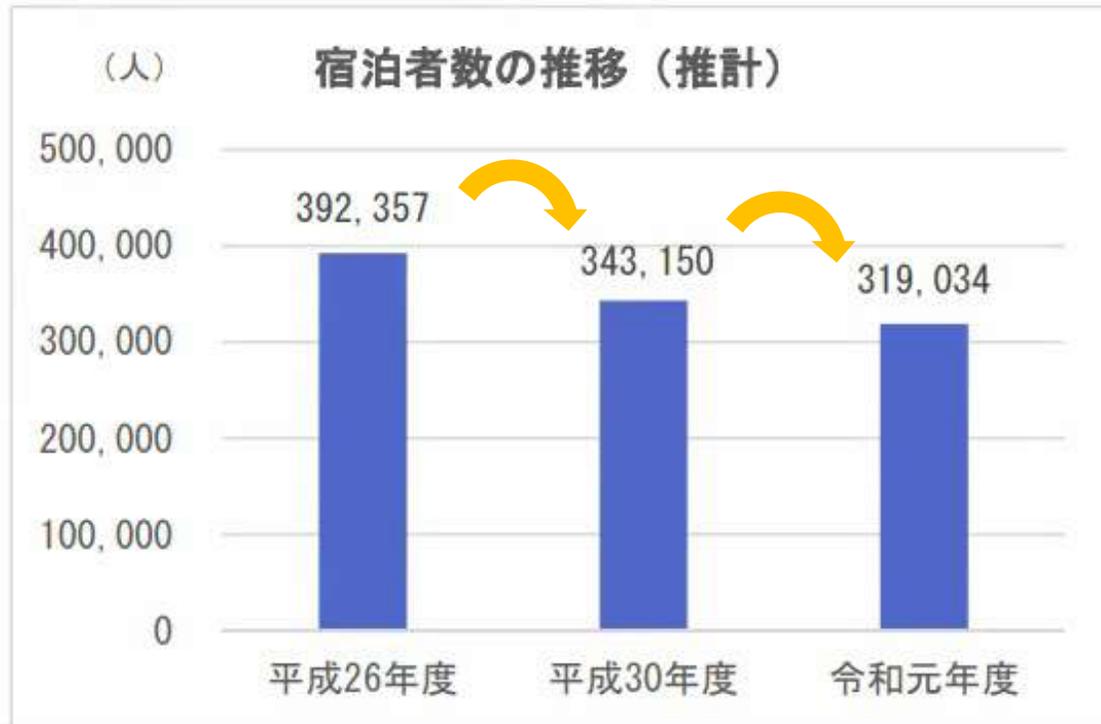


夕方～夜にかけて楽しめるコンテンツの充実！！

## 2.解決したい課題

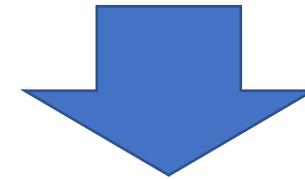
○岡崎での滞在時間を長くすることで  
宿泊客や地元飲食店での消費拡大を狙いたい

### 【アクションプラン目標指標3 対象数値】



### 現状

- ・滞在時間が短い
- ・宿泊者数が年々減少している( ; ▽ ; )



### 課題

- ・岡崎に長く滞在してほしい
- ・リピートして岡崎に来てほしい
- ・観光消費額を増やしたい

### 3.これまでの取り組み

○徳川家康公生誕の地である岡崎城や  
岡崎発祥の八丁味噌などの歴史的なコンテンツが中心

例 家康公ゆかりの神社仏閣、八丁味噌グルメ等  
に関わるスタンプラリーやキャンペーン



○近年は岡崎市在住のYoutuber「東海オンエア」の活用  
これにより若い世代の観光客も増えている

例 市内各所での「東海オンエア」メンバーの等身大パネル設置、デザインマンホールの設置、  
サイクルシェアのコラボ自転車、名鉄キャンペーンなど



## 4.今回取り組みたいこと

○夕方～夜にかけての新しい体験コンテンツの開発と実証

⇒観光客の市内での滞在時間をUPさせたい！（宿泊にも繋がれると、なお良い）

例

- ・宿泊すること自体が体験になるようなもの
  - ・東海オンエアきっかけで来訪した若い世代の観光客に、岡崎の夜も楽しんでもらえるコンテンツづくり
  - ・歴史に興味のなかったZ世代にも岡崎の歴史を楽しんでもらえるコンテンツづくり
  - ・「どうする家康」に合わせた新たな観光コンテンツづくり
- 等

〈これまでに取り組みのある事例〉 ※主催は官民間わない



乙川ナイトマーケット



ボートグランピング

etc...

夕方～夜に楽しめるコンテンツを  
もっともっと増やしたい！

## 5.実証期間内に達成したいこと

○新たな観光コンテンツを企画し、試験的に実施し、効果測定をする

- ・宿泊につながったかどうかの測定
- ・参加者へのアンケートによるリピート意向調査
- ・市内のセンサーによる人流計測

○効果測定で分かった課題を考慮し、  
期間後も継続して実施できる可能性等を考える



# 先端技術などを用いた 河川の維持管理方法の検討について

土木建設部 河川課



# 1.治水行政の課題と未来

## 課題

- ・気候変動による豪雨災害の頻発&激甚化
- ・河川管理施設（護岸など）の老朽化
- ・建設業界の就業者の減少&高齢化
- ・日常管理要望の増加
- ・草木の繁殖による施設点検の阻害
- ・現場条件.....etc

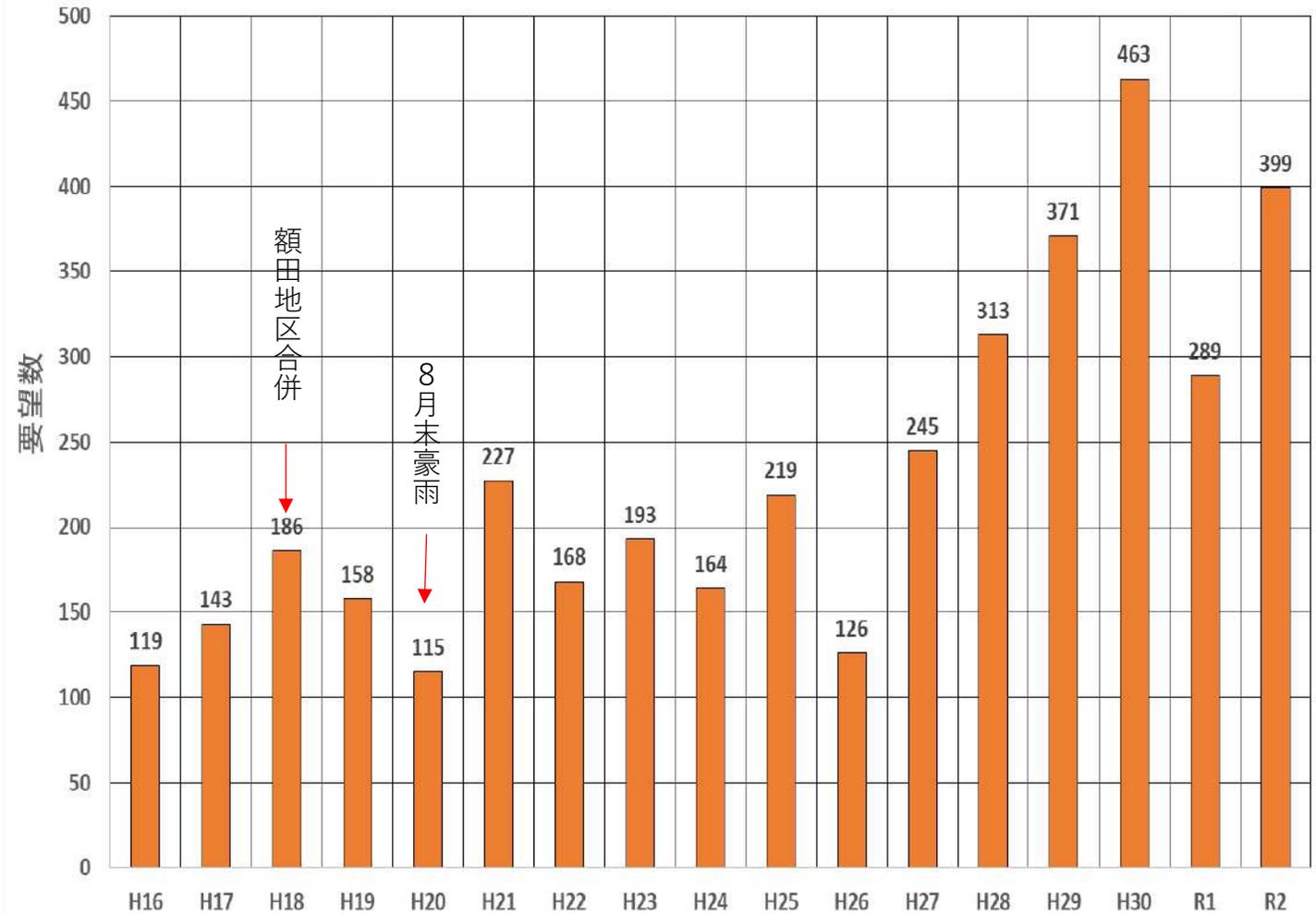


## 未来

- ・調査方法の効率化
- ・先手の維持管理
- ・メンテナンスフリーな管理施設
- ・地元による積極的な日常管理

効果的な治水に集中できる環境が重要

地元要望数の推移



## 2.河川調査の現状

### 優先順位の高い要望



- ・河道内に葦が繁殖し護岸の状況がわからない
- ・河川の断面、土砂の堆積量等の測量ができない
- ・護岸の根入れまでえぐれており、豪雨時に崩落
- ・河川施設は後手の対応になりやすい  
→巡回時に目視できる程度に草を刈ればいいが...

### 優先順位の低い(調査が困難)要望



- ・草木の繁殖は施設の目視点検が可能な程度
- ・治水上危険度が低く、地元で対応可能 (写真左)
- ・鳥獣害対策フェンスにより侵入が困難 (写真右)
- ・日常的な清掃、草刈りの協力は得られにくい  
→行政で市内の全水路の草刈りは難しい...

# 3. 今回の挑戦

## 課題

- 気候変動による豪雨災害の頻発&激甚化
- 河川管理施設（護岸など）の老朽化
- 建設業界の就業者の減少&高齢化
- 日常管理要望の増加
- 草木の繁殖による施設点検の阻害
- 現場条件.....etc



## 赤字による手間の削減方法の検討

- ドローンを使った現場調査の簡易化
- ICTによる河川情報の蓄積システムの構築
- 山羊を用いた除草実験
- 再度草木が生えないようにする除草
- 地元が率先して日常管理をするようになる方法の検討

## ※2 再繁殖の抑制例

### Answerの詳細

1) 萌芽による再繁殖への対策と有効性: ヤギ主体

#### (1) 伐採のみ: ×

地上部で伸長している樹木（幹）を伐採しただけでは、残った切株から盛んに萌芽する

#### (2) 伐採→除根: ○

地上部の樹木（幹）を伐採後、切株を取り除くことで、切株からの萌芽枝による再生を防ぐ。ただし、搬出・処理の際、枝類を残さないようにする（落枝からも再生するため）



#### (3) 伐採→切株処理: ○

伐採後、切株に対し萌芽を抑制する処理を行う。効果が確認されている方法として、切株の樹皮を剥く方法（樹皮剥皮）や切株に土を完全に被せてしまう方法（覆土）がある。ただし、枝類を残さないようにする。

#### (4) 環状剥皮（巻枯し）→伐採: ◎

立木の樹皮を剥ぎ、葉と根の間で行われる栄養供給を断つことで枯らし、枯死後に伐採する。この手法では、切株からの萌芽への対策は不要であるが、処置後に一定の期間が必要となる。落枝から再生する可能性も低い。

## ※3 河川維持管理データベースシステム例



※1 近畿地方整備局“淀川の河川管理に「ヤギ」が活躍”より抜粋

<https://www.kkr.mlit.go.jp/news/top/press/2017/019a8v000000a1zl-att/170711-2yodogawa.pdf>

※2 国土交通省HP“多自然川づくりQA”より抜粋

[https://www.mlit.go.jp/river/shishin\\_guideline/kankyo/tashizen/pdf/05\\_02Q8-1.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/kankyo/tashizen/pdf/05_02Q8-1.pdf)

※3 国土交通省中部地方整備局“河川維持管理データベースシステム「RiMaDis(リマディス)」の活用について

<https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/2019kannai/pdf/re14.pdf>

## ※1 ヤギによる除草例



今年も(秋)ヤギ除草始めました！！

平成29年7月6日(木)から、淀川河川事務所(秋)地区の堤防等において、ヤギ(2頭)を活用した除草「ヤギ除草」の取り組みを実施しています。(平成28年度に引き続き2年目)

堤防や河川公園の除草については、堤防点検(出水期前、台風期)等の準備や公園の快適な利用を目的に実施しています。除草後の対策については、他種処分等を実施する他、コスト削減や環境負荷への軽減のため様々な有効利用を図っているところです。その一環として昨年よりヤギを利用した除草を試行しています。

○堤防除草について  
堤防は、降雨や洪水等による崩れや洗掘に対して安全となるよう整備によって覆っています。しかし、芝等が伸びると地面が見えなくなり、堤防の状態把握(点検)が難しくなります。よって、堤防点検の準備のために堤防除草を行っています。

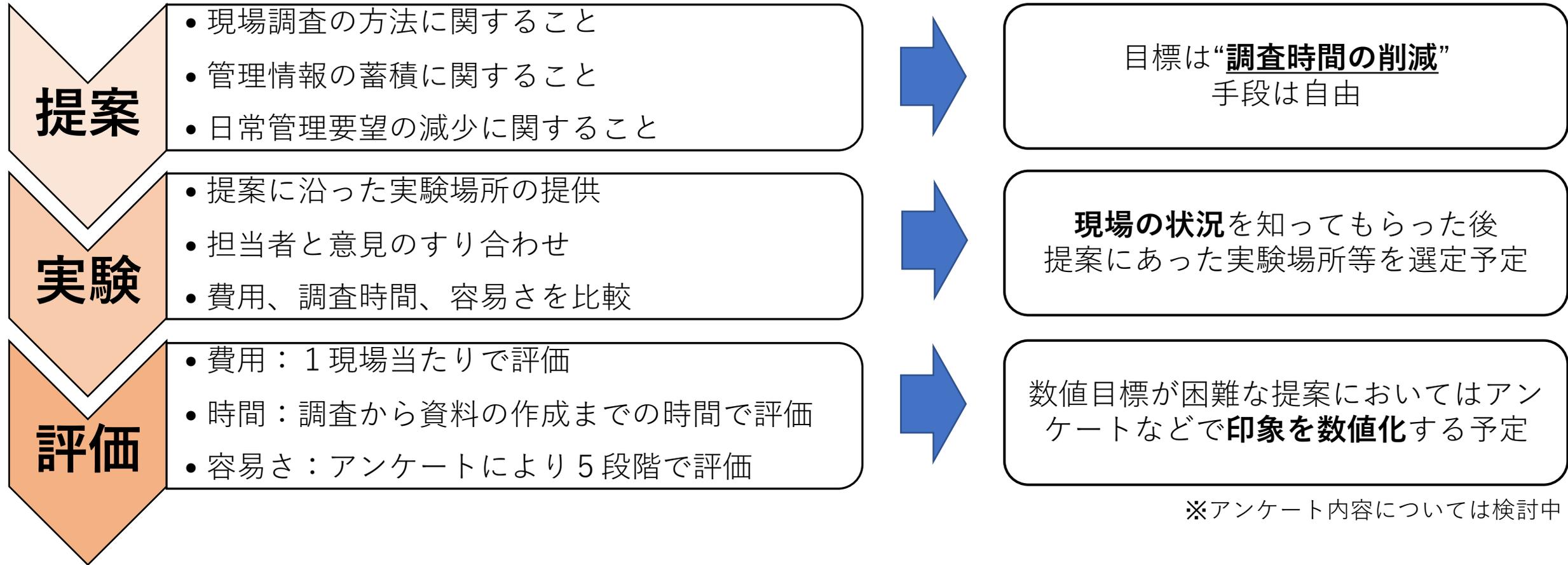
○ヤギ除草について  
ヤギ除草とは、人が機械で草刈りを行う代わりに、ヤギに草を食べてもらうことです。肥料をばらまかず、草そのものもゴミとして処分する必要がないことから、環境に優しいと最近注目を集めています。

今年度も、堤防除草としての選定、コスト削減、管理の課題など堤防点検の準備のための除草としてのノウハウを積み上げ予定です。

▼ヤギのいる場所



## 4.挑戦のゴール



費用、時間、容易さを5段階で総合評価し、4以上であれば継続の可能性あり

# 育児における不安や孤独感を解消したい！ 新たな子育て情報発信ツールの実証開発

こども育成課 施策係

# 1.実現したい未来

- 誰もが安心して子どもを産み、子育てに夢や希望をもつことができる社会を作りたい！
- 公民連携し、互いに補完しあうことで、住民ニーズにきめ細やかに対応していきたい。



子育て世帯のニーズにあった  
情報発信

子育てイベント・サークル活動等  
の活性化



## 2.解決したい課題

- 子育ての不安や孤独感を軽減させ、育児に前向きに取り組んでもらいたい。

### ■子育て中のかたの3割強が「今の生活の中で孤独を感じることもある」

理由 ①ワンオペ育児 ②新型コロナウイルスの影響

による対人関係の希薄化

その結果… ①気軽に相談したりストレス発散する機会が奪われる

②子育て情報を得る機会が減少

①相談、発散する場を提供している団体・サークルはあるものの、認知されていない or 参加しづらい。

②子育てに必要な情報は岡崎市も発信しているものの、現在の岡崎市のホームページは閲覧・検索しづらい（視覚的に「情報を得たい」と思う作りになっていない）



### 3.これまでの取り組み

子育て応援すくすくメール  
(子育て世帯認識度※: 36.5%)

妊娠中の方、3歳未満のお子さんをおもちのご家族の皆様へ

岡崎市子育て応援 / **すくすくメール** / 登録料無料

※通称は登録者のご負担となります

読者アンケート  
「登録してよかった」が  
**95%**

おなかの赤ちゃんの様子  
お子さんの育児に関するアドバイス、  
市の子育てサービスや  
イベント情報を  
成長に合わせてメールで  
お届けしています!

配信の頻度

妊娠期	毎日
出産後	毎日
～生後100日	毎日
～1歳誕生日	3日に1回程度
～2歳誕生日	1週間に1回程度
～3歳誕生日	2週間に1回程度

簡単に登録できます

妊娠期 出産後

パパも ママも おいしいちゃんも おばあちゃんも

岡崎市公式LINE

岡崎市の情報をLINEで配信

子育てハンドブック

岡崎市 株式会社 サイネックス

岡崎市公式LINE ID: @okazaki\_city

2021年度

子育てカレンダー

妊婦したとき

赤ちゃんが生まれたら

医療機関の利用について

健康診査・予防接種について

困ったときの相談窓口

ひとり親家庭への支援

一時的なあずかり

保育所・幼稚園・認定こども園

地域の子育て支援

親子で遊ぼう! おでかけ情報

ぜひご登録ください

岡崎市子育て応援すくすくメール

妊婦通数やお子さんの成長に合わせて役立つ情報をメールで配信。空メールを送信すると、登録手続きのメールが届きます。

登録 出産後

okazaki@reg.kizuna-mail2.com okazaki\_kosodate@reg.kizunamail2.com

子育てハンドブック  
(子育て世帯認識度※: 48.6%)

子育て応援フェア  
「つながる子育て in おかざき」



※岡崎市の子ども・子育てに関するアンケート調査結果(平成30年度版)の結果より  
<https://www.city.okazaki.lg.jp/1550/1563/1618/p006897.html> (資料80頁参照)

## 4.今回取り組みたいこと

- お母さんお父さんの現状を確認し、効果的な広報手段を考え開発し、実証していく。
- 新たな子育て情報発信手法についてニーズの確認と効果検証を行う。
- 「お父さん向け」コンテンツに特化した、ニーズ、提供手法の開発、検証でも可。  
(男性は単身でイベントに参加しにくい・事前申込み制はハードルが高い・パパ友が作りにくい(群れない)などの問題を検証・解決。)

※子育て支援団体(39団体)に協力をお願いすることも可能。要相談。



子育てや暮らしの学び場 NPO法人 暮らしの教育機構



子どもと向き合い大人も遊ぶ!「あ・そ・ぼ」親子サークル



お母さんのリアルを発信する「お母さん業界新聞」

## 5.達成したいこと

- ①子育て施策の認識度向上（「子ども・子育て」に関するアンケート 全項目50%以上）
- ②子育て応援すくすくメール登録者数の増加（30%増）
- ③「孤独を感じる」かたの割合の減少（30%減）
- ④「お父さん」向けイベント開催時の集客方法の確立 など

**誰もが安心して子どもを産み、  
子育てに夢や希望をもつことができる社会を作りたい！  
ぜひ私たちと一緒に考えてください！**



# 質疑応答



# 地域イノベーション交流会 のご案内

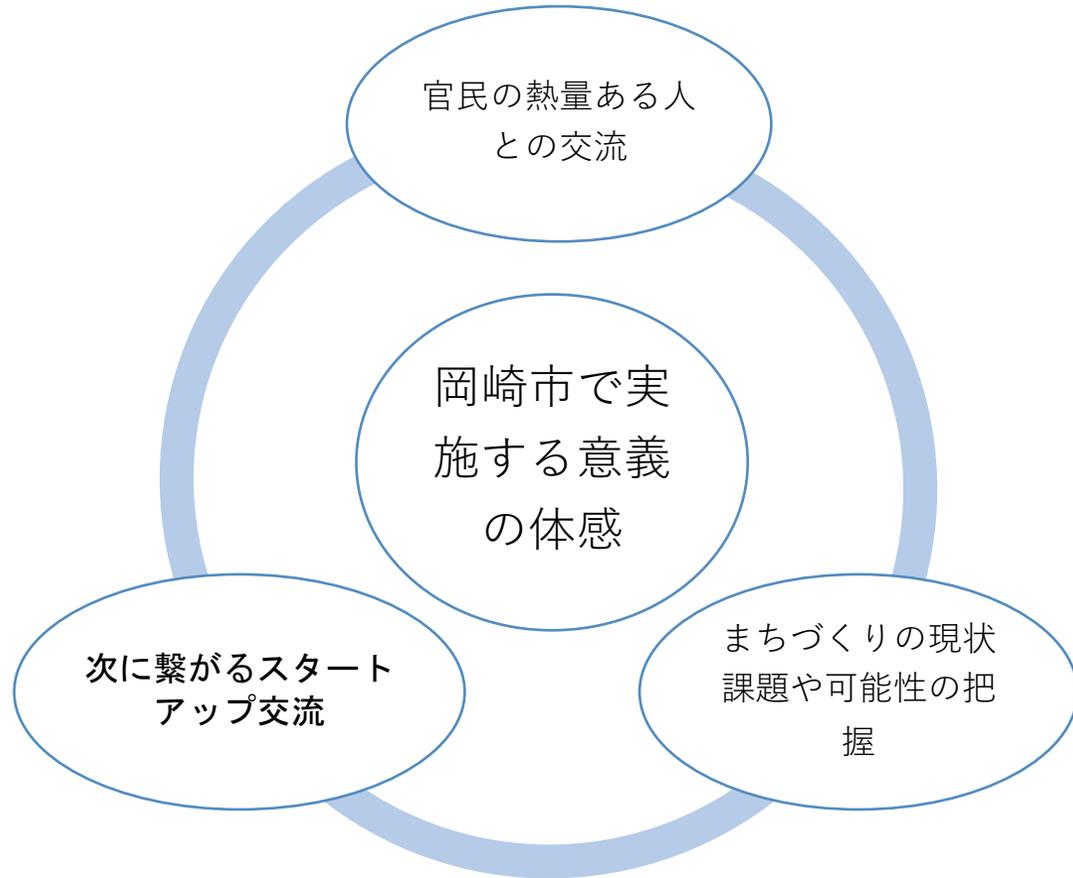


A nighttime outdoor event featuring several large tents set up on a grassy area. People are seated at tables under the tents, illuminated by warm, glowing lights. The background shows a city skyline with lit-up buildings and a dark sky. The overall atmosphere is cozy and social.

# 地域イノベーション交流会



BUSINESS SOLUTIONS



## ＜交流会の大きな目的＞

岡崎市でこれから事業を作る可能性を体感する。

### ＜そのための目標＞

#### ①官民の熱量ある人との交流

岡崎市の民間と協力しながら街をよりよく変えようと動いている行政の方々や、QURUWAエリアを中心に自らの投資を行い、または今後行う予定のあるこの地域をよりよくしようとしている民間の企業や事業者と本音で話し、この地域でやることへの愛着を醸成する。

#### ②まちづくりの現状・可能性の把握

岡崎市の方向性をただ知るだけでなく、実施に起きていることを体感し、まちづくりの戦略や現状や目指すもの、問題点や課題を把握する。そしてこの街の可能性を感じてもらう。

#### ③次に繋がるスタートアップとの交流

今回応募された企業や事業者間や、その他ローカルに関心が高いスタートアップなど繋がることで、相互の刺激になり、ビジネスのブラッシュアップや次のビジネスに繋がるきっかけをつくる。

岡崎というローカルの  
「可能性の体感」

## <主なコンテンツ>

- ①岡崎市官民からのインプットと対話  
→民間側が考える岡崎市の可能性と岡崎市全体政策のインプット、課題担当課とのディスカッション・アイデアブラッシュアップの場を提供します。
- ②フィールドワーク  
→今回フィールドとなる岡崎市の街を歩きながら実際に起きていることを体感し、深く知る場を用意します。
- ③焚き火トーク  
→岡崎市内の企業や行政の方々とアンオフィシャルな場で、焚き火を囲み、本音で交流いただく場をご用意します。



## <概要>

2021年12月3日 13:00～18:00

13:00 東岡崎駅集合/オリエンテーションフィールドワーク  
→Camping Office osotoまで移動

14:00 民間講演：スノーピークビジネスソリューションズ  
代表取締役 村瀬亮（40分）  
「民間から見る岡崎市の可能性とローカルでのビジネス」  
行政セッション：企画課からQURUWA全体像の説明、  
各4課題担当課（各15分）

16:00 グループセッション（30分）  
岡崎市全体的話と募集テーマのグループに分かれてディスカッション

16:30 焚火エリアまで移動

17:00 焚火トーク @乙川 or 籠田公園

18:00 終了/各自解散 @乙川 or 籠田公園

# 質疑応答



ご参加ありがとうございました。

問い合わせ

**Urban Innovation JAPAN事務局**

[urban\\_innovation\\_japan@communitylink.jp](mailto:urban_innovation_japan@communitylink.jp)

